



(仮称)新TODAビル
(2024年竣工予定 写真中央)

目次

- P1 株主のみなさまへ
- P2 財務ハイライト
- P3 財務情報
- P5 工事実績のご紹介
- P7 上半期トピックス
- P10 会社概要・株式情報



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年相次いで発生した台風15号および台風19号の被害により亡くなられた方々へ謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

ここに第97期上半期(2019年4月1日～2019年9月30日)の決算概要と事業活動の概況につきましてご報告いたします。

代表取締役社長

今井雅則



TODA Group Global Vision

“喜び”を実現する企業グループ

お客様の満足のために / 誇りある仕事のために / 人と地球の未来のために



財務ハイライト(連結)

当上半期における国内景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用、所得環境は改善するなど、緩やかな回復が続いております。

一方、建設業界においては、工事受注が民間工事、官公庁工事ともに前期と比較し減少しております。また、労務は依然逼迫状態にあるなど建設コストの上昇などの懸念も残しております。

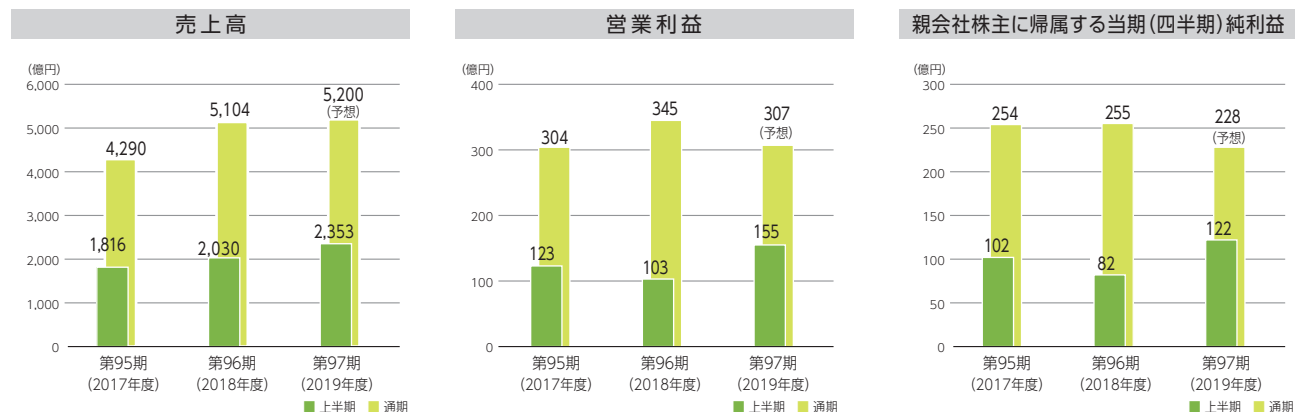
このような状況の中、当上半期における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高は、主に当社個別及び国内グループ会社の売上高の増加により、全体としては前年同期比15.9%増の2,353億円となりました。

営業損益については、主に国内建築事業において好採算の大型工事が進捗したことなどにより、売上総利益が314億円(前年同期比24.8%の増加)となりました。また、販売費及び一般管理費については、159億円と前年同期比6.8%増加しましたが、営業利益は155億円と前年同期比50.8%増加となりました。

経常損益については、保有する投資有価証券の受取配当金などにより、169億円(前年同期比42.6%増)となりました。

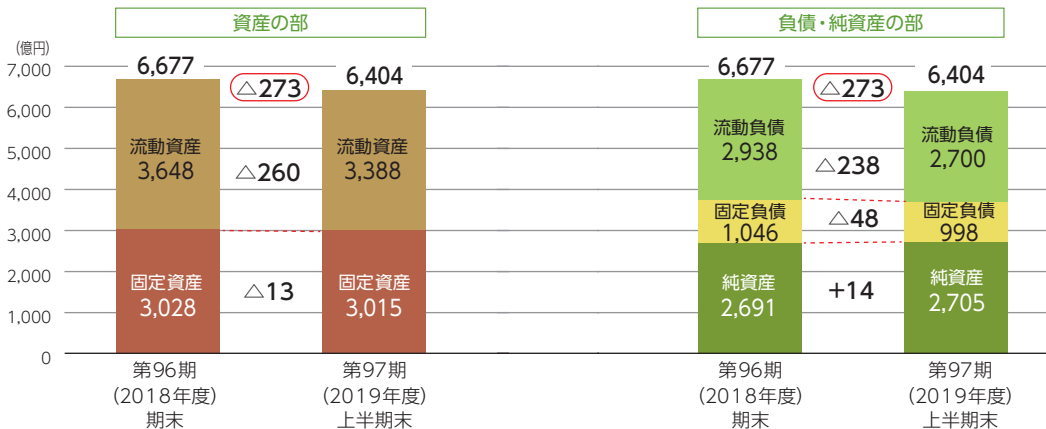
親会社株主に帰属する四半期純利益については、122億円(前年同期比48.7%増)となりました。



財務情報

第97期上半期決算情報

連結貸借対照表



資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、未成工事支出金が95億円、現金預金が59億円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等が457億円、投資有価証券が53億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して273億円減少の6,404億円(4.1%減)となりました。

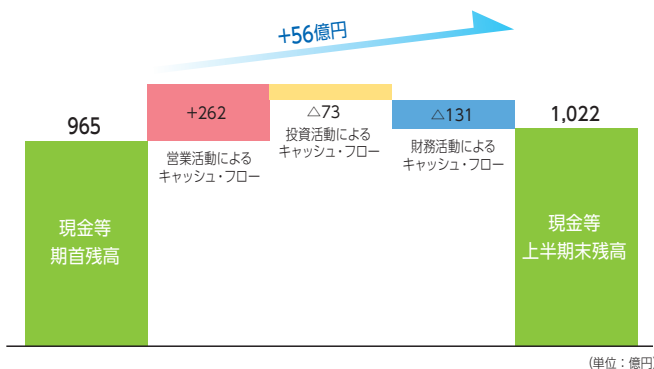
負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金が158億円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が247億円、コマーシャル・ペーパーが250億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して286億円減少の3,699億円(7.2%減)となりました。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、保有株式の時価の下落に伴い、その他有価証券評価差額金が48億円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益122億円の計上などにより、前連結会計年度末と比較して13億円増加の2,705億円(0.5%増)となり、自己資本比率は41.8%となりました。

連結キャッシュ・フロー 第97期(2019年度)



連結キャッシュ・フローの状況

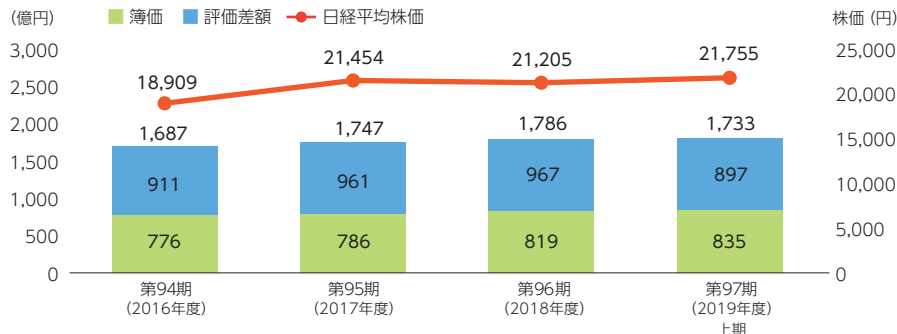
当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ56億円増加し、1,022億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、262億円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は135億円の資金減少)となりました。仕入債務の減少により207億円、未成工事支出金の増加により95億円の資金が減少しましたが、売上債権の減少により457億円、未成工事受入金の増加により87億円の資金が増加したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、73億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は161億円の資金減少)となりました。投資有価証券の売却及び償還により15億円の資金が増加しましたが、有形固定資産の取得により48億円、投資有価証券の取得により30億円の資金が減少したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは131億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は69億円の資金減少)となりました。借入により181億円の資金が増加しましたが、コマーシャル・ペーパーの償還により250億円、配当金の支払により61億円の資金が減少したことが主な要因です。

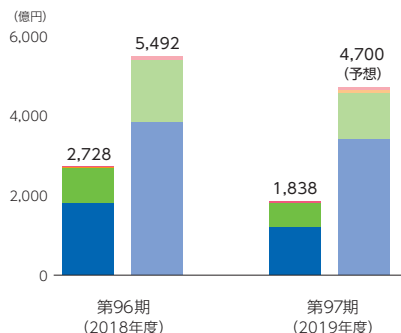
投資有価証券の推移(連結)



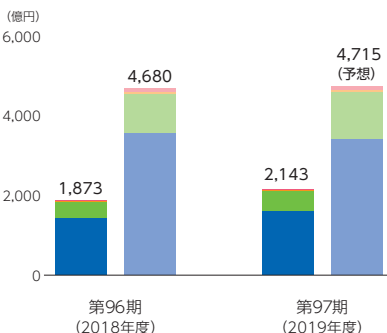
保有株式につきましては、コーポレート・ガバナンス方針に基づき、中長期的な企業価値の向上に資するかどうかの観点から保有継続について判断することとしております。2019年度上期中の株価の変動により投資有価証券の当第2四半期末残高は1,733億円となりました。

なお、損益への影響としては、営業外収益に受取配当金19億円、特別利益に売却益4億円が含まれています。

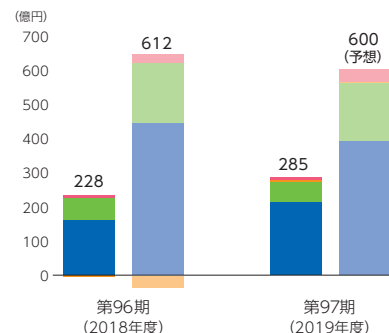
受注高(個別)



売上高(個別)

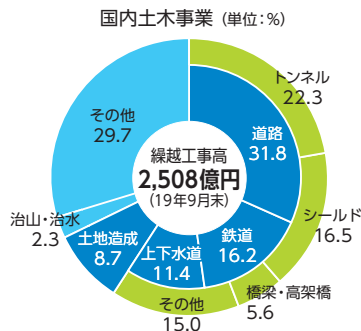
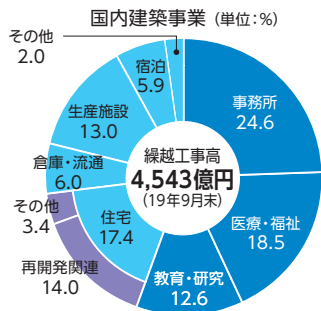


売上総利益(個別)



建設事業 国内建築：■上半期 ■通期 投資開発事業等：■上半期 ■通期
 国内土木：■上半期 ■通期
 海外：■上半期 ■通期

繰越工事・工事種別内訳(個別)



工事实績のご紹介

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的役割を果たしています。当期における主な完成・受注工事をご紹介します。

当上半期の受注工事

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| ●新大工町地区市街地再開発組合 | 新大工町地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築工事 |
| ●フォレセーヌ(株) | 代々木富ヶ谷新築工事 |
| ●(同)アール・アンド・ケイ | (仮称)堂島ホテル建替計画 |
| ●東京都 | 都立豊島高等学校(31)改築工事 |
| ●(同)JREインベストメント2号 | JREさつま太陽光発電所建設工事 |
| ●(同)JRE八幡岳 | 七戸十和田風力発電事業 |
| ●大阪府 | 寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事 |
| ●大和ハウス工業(株) | 宮代和戸横町地区土地区画整理事業造成工事 |

当上半期の完成工事

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| ●(株)永坂産業、(財)石橋財団 | (仮称)京橋一丁目東地区永坂産業京橋ビル新築工事 |
| ●(学)北里研究所 | (仮称)北里研究所白金キャンパス薬学部校舎・北里本館新築工事 |
| ●(一財)津山慈風会 | 津山中央病院 新病棟増築工事 |
| ●(学)昭和大学 | 昭和大学上條記念館新築工事 |
| ●羽衣駅前地区市街地再開発組合、東急不動産(株)、南海電気鉄道(株) | 羽衣駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事 |
| ●全国信用協同組合連合会 | 全国信用協同組合連合会新本部ビル新築工事 |
| ●東急不動産(株) | (仮称)三崎町三丁目計画新築工事 |
| ●東日本高速道路(株) | 東京外環自動車道田尻工事 |
| ●(独)都市再生機構 | H 2 5 年度山田地区整地工事(次期整備工事) |
| ●東海旅客鉄道(株) | 主要地方道松川インター大鹿線道路トンネル新設(四徳工区) |

上半期トピックス

2019年

4月

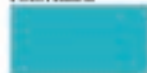
戸田建設グループ ロゴマークを制定!

創業140周年(2021年)の先を見据え、グループの一体化、新しい価値の創造を目指す

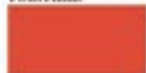
2021年に創業140周年を迎える当社は、140周年事業の一環としてグループのロゴマークを制作することとし、2018年6月から準備を進めてきました。デザインにあたってのコアとなる要素を抽出するための社内アンケートや、専門デザイナーはもとより戸田建設グループ社員およびその家族からのロゴ案募集、社員投票などのプロセスなどを経て、このたび新たなロゴマークが完成しました。



先進の技術
TODA BLUE



創造と挑戦
TODA RED



協調と共生
TODA GREY



ロゴマークのデザインコンセプトは「Orchestrating Innovation」で、多様な図形(=個性・アイデア)の集合体によって「戸田建設」の「戸」を形成し、新しい価値が生まれてくる期待感を表現しています。また、漢字の「戸」をモチーフとしたことによってオリジナリティを高めるとともに、日本発のグローバル企業に向けてクオリティやホスピタリティなどの感性価値を大切にする意志を込めています。構成色は「TODA BLUE(ライトブルー)」「TODA RED(オレンジレッド)」「TODA GREY(シルバーグレー)」の3色で、それぞれ「先進の技術」「創造と挑戦」「協調と共生」を表しています。

6月

センサ技術とIoTを活用した作業員安全モニタリングシステムを販売開始

～生体情報・作業環境をモニタリングし作業員の健康管理に貢献～

当社と株式会社村田製作所(本社:京都府長岡京市、代表取締役会長兼社長:村田 恒夫)は、2018年8月より改良を進めてきた建設作業員の生体情報や周囲環境(作業環境)をヘルメット取り付け型センサデバイスでリアルタイムに監視する「作業員安全モニタリングシステム」(以下、本システム)を共同で開発し、販売を開始しました。

国内の人口減少に起因する建設就労者の減少、現場の作業員の高齢化が進んでおり、建設業界において今まで以上に安全で快適な作業環境を整備する必要性が高まっています。さらに近年、夏の暑さが厳しくなっており、作業員が熱中症の発症や過労・体調不良といった状態になるまで、作業環境の悪化に気がつかないことが建設現場で問題となっていました。そこで、センサ技術やシステムソリューションの提供にノウハウを持つ村田製作所と戸田建設が協業し、生体情報や作業環境をモニタリングするシステムを開発しました。

本システムは、センサ技術とIoTを活用し、作業員の生体情報と作業環境をリアルタイムに収集することで熱ストレスを把握することが



センサデバイスをヘルメットに装着した状態

できます。計測した数値をクラウド上で解析し、アラートを送信することで、現場監督者が適切に作業員の健康管理を行うことができます。



現場監督者に送られるアラートメールの例

本システムは戸田建設の施工現場にて、実証確認を実施し、ヘルメット内部に取り付ける生体情報測定部の位置や大きさの最適化、突起物の多い建設現場でぶつかりにくいように外部環境情報測定部の小型化などの改良を重ね、作業員が違和感なく装着できるようにセンサデバイスを完成させました。

大規模な建設現場にも対応したネットワーク環境の構築

建設現場における無線の電波状況や作業員の動線、ゲートウェイの配置などを検証済みです。2018年秋には、敷地面積2万㎡、10階建ての建設現場で実証実験を行い、スムーズな稼働を確認しています。2019年5月には作業員200名規模の建設現場で本格稼働を開始しました。

6月 東京都RE100アクションミーティングに参加

2019年6月3日に東京都主催の「RE100アクションミーティング～RE100宣言企業・電気事業者とともに～」に参加しました。

東京都は、ゼロエミッション東京の実現に向けて、再エネ電力の利用や供給をさらに拡大するムーブメントを起こすことを目指しています。当ミーティングでは、RE100を宣言している再エネ電力の需要家である4社と、再エネ電力販売事業者4社が小池百合子都知事を囲んで議論しました。各社がそれぞれの取組みを紹介し、戸田建設からは価値創造推進室副室長の樋口正一郎が、当社の環境の取組み（RE100、浮体式洋上風力発電等）について、事例とその課題を報告しました。

小池都知事からは、本ミーティングを機に「再エネの利用拡大」と「新たな再エネ電源の創出」を大きなムーブメントにしていきたいという力強いメッセージを頂きました。



6月 AR技術で作業所の安全確保と省力化を実現! ー建設機械の配置計画を見える化する 「建機AR(エーアール)」を開発ー

当社は、先端的ICT技術を活用して、これまで作業所の安全確保と生産性向上を実現してきました。この度は、タブレット端末上で建機の3次元(3D)モデルと実際の建設工事現場の映像を重ね合わせて表示出来るシステム「建機AR」を開発しました。本システムを用いると、建設機械(以下、建機)を設置した際の建機周辺の状況や建機稼働時の危険箇所等を視覚的に確認することができます。そのため、建機の配置計画に掛かる時間と労力の削減を図ることができ、さらに、作業員とのイメージ共有が容易となるため、建設現場の安全確保にも繋がります。

※ AR (Augmented Reality): 拡張現実。人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術、およびコンピュータにより拡張された環境そのもの



3Dモデル(高所作業車)設置前後のイメージ(左:設置前、右:設置後)

8月 アートイベント「TOKYO 2021」を開催 ー戸田建設初のアートイベント、各分野で活躍する クリエイターたちがTOKYOを再検証ー

当社主催のもと、アーティスト藤元明氏の総合ディレクション、建築家永山祐子氏の企画アドバイスによるアートイベントです。同時に現ビル解体後の新しいビルを紹介する新TODAビル展を開催するほか、当社が運営するTODA農房で育てたいちごを使用したアイスも販売しました。



当社は2019年12月に現在の社屋の解体を開始し、2024年に(仮称)新TODAビルが完成する予定ですが、新しいビルには、アートをはじめとするクリエイティビティを育み、発信する場が誕生します。再び京橋に新たな芸術文化施設とともに戻ってくることを宣言し、街から期待される再生を果たすためにも、現在のビルが解体され一旦姿を消すその前に、アートイベントを開催することとしました。

イベント名は「TOKYO 2021」。戸田建設が若手アーティストや建築家と組んで手掛ける初めてのアートイベントであり、当社として完成までの全てのプロセスから学び、未来に対して何ができるかを考え、昇華させていくための必要不可欠な通過点と位置付けています。

この2021年は当社にとって創業140周年を迎える年であり、かつ、長らく京橋の地で社業を営んできた社屋が2024年に完成する新社屋にその役割を繋いでゆく節目の年でもあります。アートイベントのテーマを通して、自らのルーツである建築・土木を見つめ直す機会になるとも考えています。

イベント会場に併設して、戸田建設本社ビル建替プロジェクト(仮称)新TODAビルを紹介する新TODAビル展を開催しました。「新TODAビルの誕生を皆で祝福する」をコンセプトとし、建設会社らしく単管パイプを用いて御神輿や櫓を表現した祝祭性のある空間の中で、新TODAビルの模型、特区提案概要、新ビル設計コンセプト等の紹介を行いました。



展示イメージ1



展示イメージ2

9月 日本初、超高層大型建築作業所で100%再生エネルギーを使用

都内の超高層大型建築作業所(東京駅前常盤橋プロジェクトA棟新築工事他)の工事用電力を2019年9月1日より100%再生可能エネルギー電力に切り替えました。超高層の大型建築作業所で100%再生可能エネルギー電力を使用するのは日本初のケースです。

当社は2019年1月のRE100イニシアチブへの加盟後、事業活動に使用する電力の再生可能エネルギー電力への切り替えを推進しており、同年7月には自社の筑波技術研究所の電力を再生可能エネルギー電力に切り替えています。

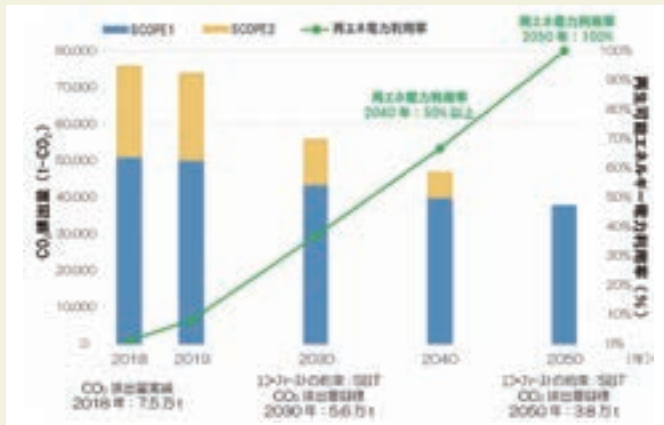
東京駅前常盤橋プロジェクトA棟新築工事他では、エバグリーン・マーケティング株式会社(社長:田中 稔道)から、実質再生可能エネルギー100%となる電力を受電しています。

当社のRE100へのロードマップでは、事業活動に使用する電力を2040年までに50%、2050年までに100%再生可能エネルギー電力とすることを目標として、その利用を推進し



東京駅前常盤橋プロジェクトA棟完成予想図

ています。また、当社はこれらを推進することで、エコ・ファーストの約束を遵守し、SBT (Science Based Targets) において設定しているCO₂排出量の削減目標の達成も目指しています。



戸田建設のRE100達成に向けたロードマップ

9月 広い梁下空間を確保し、開放的な空間を実現

—高強度材料を用いた鉄筋コンクリート扁平梁工法を開発—

高層建築物に用いられる高強度の鉄筋やコンクリートを組み合わせるとともに、梁の断面を横長(扁平梁)とすることで、従来よりも床から梁下までの高さを増すことのできる鉄筋コンクリート扁平梁工法を開発しました。広い梁下空間を確保することで、天井裏の設備計画や施工が容易になるとともに、建築計画の自由度が向上し、開放的な空間を実現できます。

一般に、建物を支える梁は曲げる力に対して強い縦長の断面とするため、意匠上の観点から梁を隠すためには天井を低くする必要があります。また、梁によって天井裏の設備スペースが分断されてしまう等の設計・施工上の課題もありました。

一方で、単に梁せいを小さくすると曲げる力に抵抗する性能が低くなってしまい、また、梁幅を柱幅よりも広くすると柱から梁への力の伝達が複雑になるため、必要な構造性能が得られなくなるという懸念もありました。

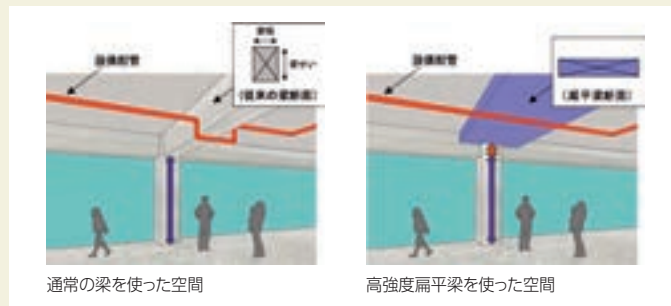


図 梁下空間のイメージ比較

【本工法の特長】

- ①建築計画の自由度が向上し、室内空間の有効利用や開放的な空間の実現が可能となる。
- ②天井裏に敷設する設備配管のレイアウトの自由度が向上し、その施工も容易になる。

なお、本工法は、構造実験による検証結果をもとに、高強度扁平梁の設計法を取りまとめ、一般財団法人 日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しています。

■ 会社概要

(2019年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都港区)・首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋市)
- ・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)・国際支店(東京都中央区)

筑波技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田ビルパートナーズ(東京)
- ・アベックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・戸田スタッフサービス(東京)
- ・佐藤工業(福島)
- ・オフショアウィンドファーム
コンストラクション(東京)
- ・五島フローティングウィンドパワー(長崎)
- ・日新ライブ
- ・アメリカ戸田建設
- ・ブラジル戸田建設
- ・タイ戸田建設
- ・ベトナム戸田建設
- ・戸田グループインドネシア
他5社

● 従業員の状況

従業員数 5,296名(連結) 4,078名(個別)

● 取締役および監査役

代表取締役社長	今井雅則	常勤監査役	海老原 恵一
代表取締役	鞠谷祐士	常勤監査役	大内 仁
代表取締役	宮崎博之	監査役	安達久俊
代表取締役	藤田謙	監査役	丸山 恵一郎
取締役	戸田守道	監査役	百井 俊次
取締役	大友敏弘		
取締役	植草弘		
取締役	下村節宏		
取締役	網谷駿介		
取締役	伊丹俊彦		

- (注) 1. 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏および伊丹俊彦氏は、社外取締役であります。
2. 監査役安達久俊氏、丸山恵一郎氏および百井俊次氏は、社外監査役であります。
3. 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏、伊丹俊彦氏および監査役安達久俊氏、丸山恵一郎氏、百井俊次氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株式の状況

(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 10,802名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大一殖産株式会社	38,418	12.50
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	18,856	6.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,698	3.81
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	9,955	3.24
一般社団法人アリー	8,977	2.92
株式会社三菱UFJ銀行	8,048	2.62
戸田 博子	6,611	2.15
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	6,432	2.09
三宅 雄一郎	6,148	2.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口 620090811)	6,002	1.95

- (注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式15,215千株があります。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

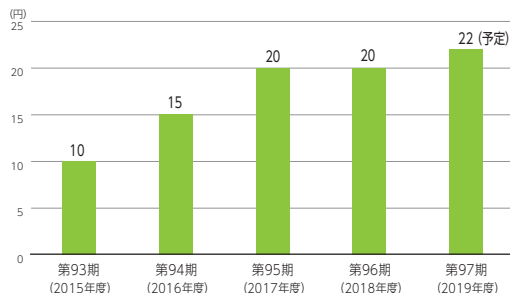
- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711(通話料無料)
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京証券取引所
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.toda.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、株主の皆様への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当期の1株当たりの年間配当金は業績予想および今後の経営環境等を総合的に勘案し、22円とすることを予定しております。

1株当たり配当金推移



本社建替えに伴う事務所仮移転のご案内

この度本社建替えに伴い、2019年12月17日より、本社事務所を下記の通り仮移転することといたしました。なお、新本社社屋(完成)は2024年を予定しております。詳細が決まり次第、改めましてご案内させていただきます。



移転先住所

〒104-0032
東京都中央区八丁堀二丁目8番5号
※電話番号は変更ございません

営業開始日

2019年12月17日(火)より
仮移転先での通常業務開始

最寄駅

- JR「東京駅」
八重洲中央口 徒歩10分
- JR「八丁堀駅」
B1出口 徒歩4分
- 東京メトロ「八丁堀駅」
A5番出口 徒歩3分
- 都営浅草線「宝町駅」
A8番出口 徒歩4分
- 東京メトロ「茅場町駅」
2番出口 徒歩6分
- 東京メトロ「京橋駅」
6番出口 徒歩7分



〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03)3535-1357
<https://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。

